

「コンクリートの品質管理指針・同解説」〔第3版〕正誤表

章	頁	行	誤	正
目次	3	下3行目	付5. 試験 <u>期間</u> …	付5. 試験 <u>機関</u> …
4	77	解説表 4.2.2 c.(1)項の1行目	(1) 砂利, <u>砂</u> は…	(1) 砂利 <u>および</u> 砂は…
4	77	解説表 4.2.2 表 4.2 の表題	砂利 <u>・</u> 砂の品質	砂利 <u>および</u> 砂の品質
4	77	解説表 4.2.2 表 4.2 の右2列目 最下行	標準色液または色見本より淡 い	標準色液または色見本 <u>の色</u> よ り淡い
4	78	解説表 4.2.2 12行目	…高性能AE減水剤 <u>および流動 化剤は,</u> …	高性能 AE 減水剤 , <u>流動化剤 および硬化促進剤は,</u> …
4	78	解説表 4.2.2 13行目	…収縮低減剤は, <u>JASS5M-401</u> (収縮低減剤) …	…収縮低減剤は、 <u>JASS5M-402</u> (収縮低減剤) …
4	80	解説表 4.3.1 2.製造設備／⑦最 大出荷能力	m ³ /h(<u>配合の…</u>)	m ³ /h(配合の…)
4	85	下3行目	a. 4.2～4.4 <u>項の…</u>	a. 4.2～4.4 <u>節の…</u>
6	106	解説表 6.2.1 (2)骨材／②の下 の表 3列目1行目	吸水率	吸水率 <u>ω</u>
6	106	解説表 6.2.1 (2)骨材／②の下 の表 右2列目2行目	標準色 <u>より濃くないこと</u>	標準色 <u>液または色見本の色よ り淡い</u>
6	106	解説表 6.2.1 (2)骨材／②の下 の表 右1列目1行目	塩分 <u>NaCl</u> (²)%	塩 <u>化物</u> (<u>NaCl</u> として)(²)%
6	106	解説表 6.2.1 (2)骨材／③の下 の表 7列目5行目	<u>90</u> ～100	<u>95</u> ～100
6	106	解説表 6.2.1 (3)の下表1, 表2	塩 <u>素</u> イオン量	塩 <u>化物</u> イオン (<u>Cl</u>)量
6	120	3行目	…判定基準は, 解説表 <u>6.6.1</u> に	…判定基準は, 解説表 <u>6.7.1</u> に

			示す…	示す…
7	130	解説表 7.4.6 左 2 列目 1 行目	“<”	“<-20”
7	130	解説表 7.4.6 左 3 列目 1 行目	“指示値 -20<”	“指示値 -20≦”
7	130	解説表 7.4.6 右 2 列目 1 行目	“指示値 ≦+20”	“指示値 ≦+20”
7	130	解説表 7.4.6 右 1 列目 1 行目	“<”	“+20<”
10	26 171	19 行目 23 行目	…試験結果は、3 個の供試体の 試験結果の平均値で表す。	削除
10	27 172	15 行目 11 行目	…試験結果は、3 個の供試体の 試験結果の平均値で表す。	削除
10	27 172	17 行目 13 行目	…判定は、1 回の試験ごとに、 表 10.2 に…	削除
10	27 172	表 10.2 右 1 列目最下行	調合管理強度以上	3 回の試験結果の平均値は、調 合管理強度以上であること。
10	164	解説表 10.1.2 左 2 列目 4 行目	“試験は約 150m ³ に 1 個”	“試験は約 150m ³ に 1 回”
10	164	解説表 10.1.2 右 1 列目 6 行目	“試験は約 150m ³ に 1 個”	“試験は約 150m ³ に 1 回”
10	164	解説表 10.1.2 左 3 列目最下行 現場水中養生の場 合	“ $\bar{x}_{28} \geq F_q$ ”	II の式を以下の 2 式に変更 “ $\bar{x}_{28} \geq F_m(20^\circ\text{C以上})$ ” “ $\bar{x}_{28} \geq F_q + 3(20^\circ\text{C未滿})$ ”
10	164	解説表 10.1.2 右 2 列目最下行	“ $\bar{x}_n \geq F_q$ ”	“ $\bar{x}_n \geq F_q + 3$ ”
10	164	解説表 10.1.2 脚注の(4)	(4) Fm：調合管理強度	削除
10	173	19 行目	…湿度の変動…	…温度の変動…
10	176	(解 10.4.2) 式の 凡例	x_{ij} ：1 回の試験結果	x_{ij} ：i 回目の試験における j 番 目の試験結果”
10	179	1 行目	が 4.1 を超せば…	が 1.41 を超せば…
10	179	2 行目	≧4.1	≧1.41

付 2	207	付表 2.6 (1) 図の解説	各層とも 11 回づつ突き棒で突く（分離ぎみの場合は 4 回程度）	各層は少なくとも 1000 mm ² に 1 回突き棒で突く（分離を生じるおそれがあるときは、分離を生じない程度に突き数を減らす）
付 5	227	10 行目 (一財)広島県環境 保健協会材料試験 室の JNLA 登録		圧縮、骨材の両方に”○”を追加